

## 2級 実技（論述）模擬問題 解答例

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

入社当初は営業の仕事で残業が続き、体がもたないと思い管理部門へ異動したが、営業とのやり取りに時間がかかり、お客様の情報を何度も聞かなければならず、そっけない態度が苦痛である。上司に仕事代えを交渉したが、難しいと言われている。キャリアのことを考えて通関業務の仕事をしたいが、現在派遣スタッフが担当している。今の仕事はいくらやっても営業職の尻拭いにしかならないので、難関であるが、通関士の資格取得で転職するしかないと思悩んでいる。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

1) 仕事の進め方の改善提案や調整不足。営業から管理部門に異動となり、組織内の仕事の繋がりがわかる立場にあるが、営業とのやり取りの苦痛から、管理業務を営業の尻拭いと感じ、連携がとれるように上司に働きかけず、仕事代えを打診している。2) 組織及び職業の機会の検討不足：通関業務の仕事の希望がすぐに叶わないからといって視野が狭くなり、組織内のキャリア形成を模索せず、3年頑張ったことを理由に、資格を取得して転職するしかないと思込んでいる。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせて、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

① (目標) 現在の仕事にストレスを抱え、そのなかでも今後のキャリア形成を考えている相談者の話を傾聴し、寄り添いながら、組織内のキャリア形成の検討や、中長期的視点立ってキャリアプランが考えられるように支援する。

② (方策) 1)現在の管理業務で、営業からの情報があるとお客様との関係構築にどう役立つのかまた、その情報を営業担当の立場からすると何に役立つのかを整理してもらい、上司への業務上の改善提案を促す。2)目標を共有し、通関士の資格の勉強の計画や取得時期などを確認。現在の職場で通関業務の機会を得ることが可能であるか、他部署の様子なども含めて情報収集を促す。また派遣スタッフとも接し、貿易業務の他社の実情を聞き、通関士の求人情報を調べることを提案する。これまでの仕事の棚卸しを行い、貿易関係の仕事で活かせる強みや能力をジョブカード整理し、アピールポイントを明確にする。中長期的なキャリアプランの視点に立ち、現在の会社で通関士のキャリアを形成していくか、転職をして通関士としてのキャリアを歩むのかのメリット・デメリットを検討してもらい、キャリア形成のための行動計画を立て支援する。

注：解答は設問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採用されません。